

橋梁と基礎 2006年総目次

Vol. 40 No.1~12

(題名)	(筆者)(月号)	(題名)	(筆者)(月号)
〔年頭所感〕		熱プレストレス工法を用いた単純桁の桁連続化に関する検討	
橋梁の津波対策を考えよう ——より安全・安心なインフラの構築に向けて——	家村 浩和 (1)	山口 邦彦・石丸 元洋・吉川 紀・栗田 章光・中井 博 (1)	
更なる技術の発展を	井上 啓一 (1)	地震時座屈発生臨界までの余裕に関する考察	為廣 尚起・大塚 久哲 (7)
新春酔夢譚	大森 邦雄 (1)	〔報 告〕	
道路ルネッサンスの推進	柘屋 誠 (1)	新西海橋主橋部の設計と施工	高治 正信・白井 武・田崎 智・茂呂 充・西畠 儀行・古村 光弘 (1)
真に必要な道路	橋本鋼太郎 (1)	かたくり橋の設計と施工 ——貴重植物との共生を目指して——	中野 光雄・廣瀬 彰則・坪村 健二・飯山かほり・小竹 悟史・高橋 隆一 (1)
そうだ、コンペをしよう	安江 哲 (1)	鋼 I 桁ソールプレート溶接部の疲労損傷補修	牛越 裕幸・佐々木一哉・今井 正智・松本 好生・小林 一雄 (1)
子供の頃、夢見た未来	渡辺 泰充 (1)	第二東名高速道路大平高架橋の設計と施工	井口 哲也・横山 俊夫・森谷 久吉・石川 善信 (2)
〔巻 頭 言〕		南海本線跨線橋の設計・施工 ——関西空港連絡線下り線高架化工事——	中村 毅・梶谷 知志・長谷川 強・中原 正人・村上 史朗・岡田 昌樹 (2)
鋼橋業界の回生を願って	伊藤 學 (2)	南京長江第三大橋 ——中国最初の鋼製主塔を有する長大斜張橋——	山崎 康嗣・沈 赤・池田 虎彦・林 鳴・婁 学全 (2)
橋づくりを楽しんでいますか	松村 博 (3)	ドイツの実橋耐荷性能試験車 BELFA の紹介	上阪 康雄・松田 浩・Gutermann Marc (2)
夢のある橋の開発を	陸好 宏史 (4)	側面ブラケット付きラーメン橋脚横梁のアラムド繊維シート 補強に関する実験と解析	篠崎 裕生・三上 浩・樋口 昇・陸好 宏史・Govinda Raj Pandey (2)
関東大震災の体験	仁杉 巖 (5)	外ケーブルを用いたプレキャストセグメント桁の 中間支点におけるせん断耐力の評価に関する研究	大塚 久哲・若狭 忠雄・篠原 輝之 (2)
総合エンジニアリングとしての橋梁事業	山川 朝生 (6)	大井川水路橋の設計と施工	高橋 昇・望月 一孝・川東 修一・二本橋 優・加藤 敏明・岩城 孝之 (3)
技術者像考	小宮 正久 (7)	荒巻本沢地区橋梁(上部工)の計画・設計 ——波形鋼板ウェブを採用した広幅員エクストラードズド橋——	矢野 英昭・佐々木健雄・青野 光伸・有馬 久伸 (3)
多様性の確保と橋梁	伊藤 義人 (9)	近畿自動車道紀勢線紀勢宮川橋の設計と施工(上)(下)	山根 潤二・畠山 慎也・山田 菊雄・熱田 憲司・高森 博之・永田 淳・北野 和之・佐々木利光 (3,4)
土木設計では姉歯事件は起きないか ——第三者によるチェックシステムを——	大島 一哉 (10)	カルキネス橋梁(米国)の工事概要と紛争解決手法	柳原 正浩・小濱 吉記・中村 裕司 (3)
継続教育への取組み	山本 正明 (11)	橋梁設計の照査にみる日米の相違と Independent Check の意義	大橋 治一 (3)
技術の伝承	藤田 泰 (12)	英国におけるユーロコードへの対応	福井 次郎・白戸 真大・松井 謙二・井上 雅夫 (3)
〔技術雑感〕		荒巻本沢地区橋梁の施工 ——波形鋼板ウェブを有する1面吊り形式 エクストラードズド橋——	佐々木健雄・田中 邦夫・山野辺康樹・佐藤 隆・村井 弘恭・吉田 政宏・伊藤 拓 (4)
公共調達の改革で明らかになる”技術責任の所在”と建設業の行方 ——公共工事の技術責任(Engineering Responsibility)を考える——	柴田 豪之 (10)	〔橋の名景を撮る〕伝えたい日本の橋	平野 暉雄
〔橋の名景を撮る〕伝えたい日本の橋	平野 暉雄	第3回 石橋(九州を除く)	(1)
第3回 石橋(九州を除く)	(1)	第4回 木の橋	(3)
第4回 木の橋	(3)	第5回 屋根付き橋	(5)
第5回 屋根付き橋	(5)	第6回 煉瓦橋・コンクリート鉄道橋	(7)
第6回 煉瓦橋・コンクリート鉄道橋	(7)	第7回 コンクリート橋	(10)
第7回 コンクリート橋	(10)	第8回 鉄の橋(その1)	(12)
第8回 鉄の橋(その1)	(12)	〔文化を彩る近代の橋〕	北河大次郎
〔文化を彩る近代の橋〕	北河大次郎	3. 時代を映す近代の跳ね橋:長浜大橋	(2)
3. 時代を映す近代の跳ね橋:長浜大橋	(2)	4. 現存最古の近代吊橋:美濃橋	(4)
4. 現存最古の近代吊橋:美濃橋	(4)	5. 鉄道可動橋技術確立の表徴:旧筑後川橋梁(筑後川昇開橋)	(6)
5. 鉄道可動橋技術確立の表徴:旧筑後川橋梁(筑後川昇開橋)	(6)	6. 構造デザインの冒険:ハツ沢発電所施設第1号水路橋	(9)
6. 構造デザインの冒険:ハツ沢発電所施設第1号水路橋	(9)	7. 「日本の橋梁」という問題提起:三朝橋	(11)
7. 「日本の橋梁」という問題提起:三朝橋	(11)	〔設計資料〕	
〔設計資料〕		無補剛人道吊橋の耐風性	枝元 勝哉・須澤 雅人・畠中 真一・木村 吉郎 (1)
無補剛人道吊橋の耐風性	枝元 勝哉・須澤 雅人・畠中 真一・木村 吉郎 (1)	〔論 文〕	
〔論 文〕		波形鋼板ウェブ橋の床版2次曲げ応力の一低減法	加藤 久人・三好 崇夫・西村 宣男 (1)

(題 名)	(筆者)(月号)
橋梁基礎杭を利用した地中への季節間蓄熱融雪 ——福井県の新清永橋——	
.....宮本 重信・竹内 正紀・永井 二郎・ 中川 毅信・藤井 政志	(4)
SI ニューマの設計・施工技術 ——IT を駆使した未来型の無人ニューマチックケーソン工法——	
.....小田 章治	(4)
摩擦型ひずみゲージを応用した応力聴診器の活用 ——スイスでの事例——	
.....山田健太郎・小塩 達也・Alian Nussbaumer	(4)
米国における橋梁マネジメントの実態に関する調査	
.....山川 朝生・吉田 好孝	(4)
3 径間連続アーチ橋(天間川橋梁)の設計と施工	
.....大庭 光尚・松本 浩一・津吉 毅・ 東海林直人・佐藤 茂美・石橋 忠良	(5)
徳之山八徳橋下部工の設計	
.....自閑 茂治・西村 昭寿・廣瀬 正一・ 鈴木 洋司・長屋 定政・林 克弘	(5)
韓国・仁川国際空港第二連絡橋(仁川大橋)の設計 ——デザインビルドにおける斜張橋の計画・設計——	
.....申 鉉穰・中村 仁司・工藤 浩・ 片山 啓・内海 芳則・漆原 悟	(5)
新潟中越地震による芋川橋の損傷および復旧工事	
.....岡 靖人・丸山 淳一・亀田 和夫・大信田秀治	(5)
免震・制震デバイスをを用いた豊里大橋の耐震性能向上策	
.....川村 幸男・平野みゆき・宋 華文・ 平 幸蔵・家村 浩和	(5)
インドネシア・ニアス島における橋梁の地震被害復旧と 復興に対する援助を考える	
.....五瀬 伸吾・小森 克夫・ 木下 献一・ビナハティ・バエハ	(5)
北海道縦貫自動車道鳥崎川橋上部工の施工 ——波形鋼板手延べ桁を用いた押し出し架設——	
.....持田 淳一・武田 勇光・大川 渉・ 堀口 政一・塚本 敦之・神田 隆司	(6)
徳之山八徳橋下部工の施工	
.....吉澤 利男・鈴木 洋司・向後 和広・ 安永 和正・高城周一郎・塩出 貴保	(6)
PC 複合トラスラーメン橋の振動特性 ——第二東名高速道路猿田川橋の実橋振動実験——	
.....青木 圭一・長田 光司・加藤 敏明・ 野村 敏雄・山口 貴志・高徳 裕平	(6)
福岡高速 5 号線閉断面箱桁の架設工事	
.....田中 清幸・馬場 孝義	(6)
新北九州空港連絡橋の景観設計と耐風設計	
.....田中龍之祐・国府田直規・兒玉 隆昌・崎本 繁治	(6)
オランダにおける鋼床版疲労損傷の補修・補強事例の調査	
.....井口 進・川畑 篤敬・山田健太郎	(6)
徳之山八徳橋上部工の設計と施工	
.....自閑 茂治・宮川 省三・廣瀬 正一・鈴木 洋司・ 重松 伸也・大竹 省吾・長谷川明義・佐橋 裕隆	(7)
婦恋村運動公園歩道橋のプロポーザル ——設計施工一括発注方式——	
.....坂尾 博秋	(7)
新勝瀬橋の設計・施工	
.....田丸 顕一・香山 孝司	(7)
歴史的鋼橋の図面の収集と保存 ——その史料性と調査の必要性——	
.....五十畑 弘	(7)

(題 名)	(筆者)(月号)
錫プラグ入り積層ゴム免震装置の開発	
.....光阪 勇治・田中 久也・福田 滋夫・ 山口 直之・中積 健一	(7)
青春橋の設計と施工 ——単径間 PC 二重張弦桁橋——	
.....丸山 功市・黒岩 憲次・坂尾 博秋・ 津田 久・平 喜彦・桑野 昌晴	(9)
上信越自動車道北千曲川橋の施工 ——鋼・コンクリート複合橋梁——	
.....笹井 幸男・桑山 豊六・佐藤 正勝	(9)
ビン橋(ベトナム)の建設工事の概要	
.....松野 憲司・中山 真明・上島 秀作・ 山本 裕一・大山 篤生・藪野 真史	(9)
栗東橋の耐風設計	
.....宇佐美 惣・福原 寛光・安川 義行・ 中蘭 明広・橋野 哲郎・平井 滋登	(9)
鋼 I 桁橋の横ねじれ座屈に関する設計法の提案	
.....尾下 里治・水口 知樹・江川 定利	(9)
首都圏中央連絡自動車道藤金第 1 高架橋の設計と施工 ——大型搬送車をを用いた並列する橋梁 2 連の夜間一括架設——	
.....山田 浩稔・宮添 政志・及川 俊介・ 瀬尾 高広・大岩 正典・藤田 富男	(9)
長大トラス橋・港大橋の損傷制御設計による対震性能向上	
.....金治 英貞・宮本 義広・西岡 勉・高田 佳彦・ 石橋 照久・桐岡 幸啓・林 訓弘・徳増 健	(10)
バイチャイ橋の施工 ——世界最長の 1 面吊り PC 斜張橋——	
.....柳川 春夫・吉田 喜義・中村 智樹・ 土田 一輝・永元 直樹	(10)
韓国・仁川国際空港第二連絡橋(仁川大橋)斜張橋部の設計 ——主塔および橋脚の設計——	
.....申 鉉穰・柳 元珍・中村 仁司・ 横山 浩之・滝澤 慎介	(10)
コンクリート桁端部の遊間止水工法の開発	
.....和田 吉憲・松田 哲夫・國川 正勝・ 森房 春海・樺山 好幸・木虎 久人	(10)
歴史的鋼橋の補修・補強に関する調査研究	
.....大垣賀津雄・渡部鐘多朗・山本 哲	(10)
函館江差自動車道茂辺地高架橋の施工 ——プレキャストセグメント工法による 11 径間連続 PC ラーメン橋——	
.....間山 義樹・笠松 周悟・干場 宏幸・ 森田 秀人・山崎 紀彦・稲原 英彦	(11)
第二名神高速道路鎌ヶ瀬橋(上り線)の設計	
.....中須 誠・柳野 和也・干村 秀次・ 加邊 直人・堤 忠彦・坂本 健俊	(11)
連続合成桁橋における合成床版の性能確認と品質管理 ——首都高速埼玉新都心線見沼田圃地区高架橋——	
.....末吉 学・木村 真二・山本 泰幹・ 伊藤 剛・佐藤 徹	(11)
供用下における SFRC による鋼床版の疲労対策	
.....兒玉 孝喜・加形 護・後藤 和満・近藤 充志	(11)
構築後 70 年を経過した木杭の健全性 ——鉛直載荷試験, 水平交番載荷試験——	
.....山内 堅次・山口 弘則・松本 和功・ 富田 徹・又吉 一史	(11)
グローバル化時代のコンサルタントの役割と設計照査の意義	
.....大橋 治一	(11)
幹線道路上における新交通日暮里・舎人ライナーの鋼桁架設	
.....相場 淳司・加藤 英明・中島 裕・ 園部 敏・佐藤 寿光・五嶋 浩一	(12)

(題名)	(筆者)(月号)
韓国／積金大橋の設計	
.....趙 忠永・朴 沫永・金 在洪・ 米沢 栄二・審良 郁夫	(12)
第二東名高速道路駒門橋(鋼橋脚)の施工 ——国内最大級の鋼製橋脚の夜間一括架設——	
.....黒田 健二・若林 大・大角 末廣・ 楨元 秀樹・松元 丈臣・峯田 敏宏	(12)
福岡高速5号線3, 4工区の設計における構造選定 ——スレンダーボックス桁の採用——	
.....田中 清幸・藤田 敏夫・出口 哲章・吉崎 信之	(12)
瀬戸大橋の塗替え塗装にあたっての塗膜評価	
.....長谷川 芳己・長尾 幸雄	(12)
逆π形断面の鋼桁橋の送出し架設時における留意点	
.....土井 保彦・加藤 久人・高橋 昭一・西村 宣男	(12)

〔ひろば〕

書評：『アセットマネジメント導入への挑戦』	(1)
「CALIS/EC MESSE 2006」開催のお知らせ	(1)
書評：『新しい補強土擁壁のすべて』 ——盛土から地山まで——	(2)
平成18年度「橋梁点検技術研修会」開催のご案内	(2)
ミヨー高架橋を訪ねて	(2)
指名プロポーザル方式による(仮称)各務原大橋 提案者プレゼンテーションの開催	(3)
耐震のニューフェース“制震ストッパー”	(3)
「社会資本のアセットマネジメントセミナー」開催のご案内 ——世界の動向と首都高速の実践事例——	(4)
日本鉄鋼連盟「第10回土鋼構造シンポジウム」を開催	(5)
平成17年度土木学会「田中賞」決まる!	(6)
書評：歩道橋のデザインに関する新刊2冊	(6)
土木の文化財を考える会「第16回講演と討論の会」のお知らせ	(6)
fib 2006ナポリコンgresで青雲橋が大賞を受賞	(7)
2005年度土木学会デザイン賞決まる	(7)
「仙台市高速鉄道東西線瀬川橋りょう他設計競技」第一次審査結果	(9)
平成18年度「橋梁技術発表会および講演会」開催のご案内	(9)
平成17年度「プレストレストコンクリート技術協会賞」決まる	(9)
書評：『コスト構造改革のヒント ——橋の設計・デザインを楽しく——』	(10)
イギリスの橋梁デザインコンペに日本チームが3位入賞	(10)
速報：カナダ・ケベック州で跨道橋が突如落下	(11)
書評：実践 土木のアセットマネジメント 「やりくり」で防ぐ社会資本の荒廃	(11)
ワークショップ「構造工学フロンティア」開催される	(11)
徳山ダム試験湛水に先立ち代替国道が供用開始!	(11)
平成18年度「橋梁技術発表会」開催される	(11)
土木の文化財を考える会「第17回講演と討論の会」のお知らせ	(12)

〔海外文献紹介〕	橋梁と基礎 海外文献研究グループ
鋼管ウェブを用いた新しい複合構造——モー高架橋——	(1)
アーチリブにCFTを用いた長大アーチ橋 ——銅瓦門(Tongwamen)橋——	(2)
米国最大のプレキャストセグメント箱桁橋——Victory橋——	(4)
工期短縮への挑戦! プレキャストシェル構造PC斜張橋 ——Taney(トニー)橋——	(7)
世界最大の単弦アーチ——New Svinesund橋——	(11)
美しき歩道橋の世界——吊床版形式歩道橋の海外事例——	(12)

(題名)	(月号)
〔外国語豆知識〕	
世界のお正月	(1)
Bid Rigging(談合)	(2)
QCBS(Quality- and Cost-Based Selection)	(3)
スケール(scale)の話	(4)
胡麻(ごま)の話	(5)
“ラテン”って何?	(6)
天の川にミルクが流れる	(7)
state-of-the-art technology(最先端の技術)	(9)
中国新語事情(その1)	(10)
中国新語事情(その2)	(11)
中国新語事情(その3)	(12)

〔表紙および口絵〕

(橋名)	(所在地)	(形式)	(写真提供)	(月号)
新西海橋	長崎県	鋼中路プレースドリブ アーチ橋	三菱・佐世保・大島	(1)
大平高架橋	静岡県	PC13径間連続箱桁橋	オリエンタル・川田 ・銭高	(2)
大井川 水路橋	静岡県	PC11径間連続フィン バック2室箱桁橋	大林・大豊	(3)
荒巻本沢地 区エクスト ラードズド 橋	宮城県	2径間連続波形ウェブ PCエクストラードズ ド橋	ドーピー建設工業 ・橋本	(4)
天間川橋梁	青森県	3径間連続アーチ橋	鉄建建設・三井住 友建設	(5)
鳥崎川橋	北海道	PC11径間連続箱桁橋 (波形鋼板ウェブ)	大成建設・鉄建建 設	(6)
徳之山 八徳橋	岐阜県	3径間連続PCエクス トラードズド箱桁橋	オリエンタル・川 田・昭和	(7)
バイチャイ 橋	ベトナム 共和国	6径間連続PPC斜張 橋	清水建設・三井住 友建設	(8)
青春橋	群馬県	単径間PC二重張弦桁 橋	三井住友建設・黒 岩工業所	(9)
港大橋	大阪府	カンチレバー(ゲルバ ー)トラス橋 対震性能向上	日立・HSE・横河 ・横河工事・石播 ・イスミック・三 菱エンジ・川重・ 片山	(10)
茂辺地 高架橋	北海道	3径間連続PCラーメ ン橋,11径間連続PC ラーメン橋	大成・ピーエス三 菱・日本高圧	(11)
新交通日 暮里・舎人 ライナー	東京都	非合成箱桁橋,非合成 鋼桁橋,鋼床版箱桁橋	横河・石播	(12)

特集 これからの設計を考える（8月号）

〔特集号まえがき〕 ……………藤野 陽三

〔口 絵〕 バイチャイ橋

〔巻 頭 言〕

性能設計基準は大きな方向転換なのか、誇大名称なのか

……………西野 文雄
 技術者は設計法についていけるか……………市川 篤司
 造形有理……………田村 幸久
 設計を担う建設コンサルタントとのパートナーシップ
 ……………前川 秀和
 だれが構造物の品質を確保するのか……………松井 繁之
 設計の現場から見た性能照査型設計法……………倉方 慶夫

〔総 論〕

施工と維持管理を設計せよ

——100年橋梁を保証するために—— ……………西川 和廣
 新しい道路橋示方書に向けて、性能規定化と新技術評価

……………玉越 隆史
 鉄道橋における性能照査型設計の今後の動向

……………杉本 一朗，池田 学
 次世代耐震設計論に関する一考……………運上 茂樹
 疲労設計の方向……………館石 和雄
 設計思想と信頼性理論……………佐藤 尚次
 鋼橋設計の合理化……………山口 栄輝
 PC 橋の合理的な設計法 ……………陸好 宏史
 合理的な基礎設計への取組み……………原 隆史，広瀬 剛

〔各 論〕

数値解析による橋梁の耐風設計はどこまで可能か

……………石原 孟
 合成桁による設計思想の転換……………奥井 義昭
 現行の設計で活かしきれていない複合構造本来の力学性能
 ——反省・疑問・興味——……………杉浦 邦征
 鋼床版の疲労設計

——デッキプレートとUリブの溶接部を対象として——
 ……………村越 潤

コンクリート系道路橋床版の要求性能と設計

……………日野 伸一
 繊維補強コンクリートの将来像……………二羽 淳一郎
 斜張橋・エクストラドーズド橋における

斜ケーブルの設計法……………春日 昭夫
 杭基礎の設計の方向……………木村 亮
 基礎の性能照査と数値解析技術……………中谷 昌一，白戸 真大
 超長大橋の技術動向と将来展望（設計概論）

……………山田 郁夫
 FEMによる橋梁最適設計 ……………小西 拓洋
 鋼橋設計における留意点……………川畑 篤敬

マルチスケール統合解析への期待

——コンクリート構造の耐久性検証における役割——

……………岸 利治
 耐久性の設計への取込み……………下村 匠
 付着制御とプレストレスによる損傷制御設計の可能性

……………西山 峰広
 ライフサイクルデザインのすすめ……………須田 久美子
 アセットマネジメントとリスク評価

——リスクを考慮したLCC評価に基づく

維持管理計画手法——……………堀 倫裕

〔設 計 思 想〕

橋梁における構造美 ……Miguel A. Astiz, (訳) 春日 昭夫
 ユニバーサルデザイン

——人間のための歩道橋を考える—— ……………松井 幹雄

歩道橋の設計ガイドライン

……………マイク・シュライヒ, (抄訳) 関 文夫
 足で稼ぐデザイン……………畑山 義人

初期設計段階（プレリミナリーデザイン）における
 設計のまとめ方……………一丸 義和

複合構造橋梁における設計技術者の意識……………橋 吉宏
 海外の橋梁デザイナーに学ぶこと……………伊東 靖

設計思想の成熟へ向けて

——復興橋梁群の設計思想とその現代的意義——

……………中井 祐
 橋の存在とデザインの意味——そしてディテール

……………佐々木 葉

〔事 例〕

良い構造物を設計するために

——JR 東日本における最近の事例—— ……………津吉 毅

高速道路における橋梁設計の事例

——PRC 橋と鋼 2 主桁橋—— ……………本間 淳史

インテグラル複合ラーメン橋……………高木 優任
 海外と国内の設計規準比較

…武知 勉，加藤 卓也，堤 忠彦，今村 晃久

バイチャイ橋の設計……………小宮 正久

〔時代を拓いた設計〕 ……橋梁と基礎 海外文献研究グループ

Marne 川に架かる橋梁群（Luzancy 橋，Esbly 橋，Annet 橋，Trilbardou 橋，Changis-Saint-Jean 橋，Ussy 橋）

——PC 橋の原点——

Dusseldorf-Neuss 橋

上姫川橋

Ganter 橋

小田原ブルーウェイブリッジ

アイアンブリッジ——世界初の鉄の橋——

Cognac 橋

Theodor-Heuss 橋

Forth 鉄道橋